◇２年生最高学年スタート集会（決起集会）

卒業式の翌朝、2 年生のみなさんは、決意新たに集合し、卒業までの１年間、自分たちはどんな姿で生活し、この川島中の顔として頑張っていくのかを確認しました。この日は、集合時間を守り、落ち着いた姿勢で会をスタートしていました。

会では、卒業式に参列したリーダーたちが、卒業式を終えた今、自分が感じていること、決意などを順番に話していきました。先生から、「自分の弱さ・不安も話してみて」と言われていたこともあり、それぞれが、自分の正直な思いを語る場面もありました。

・実は、緊張に負けて声が出せないんだ・・・。
・反論されるのが怖くて、呼びかけをやめてしまうこともある。でも、本当は、仲間に頼ってばかりの自分ではだめだと思っている。勇気を出して呼びかけをしたい。
・失敗が怖い。やりきる自信がない。でも、なりたい ３ 年生に近づくために、頑張らなくてはならないと思っている・・・。
・自分は、本当は人前に立つことが苦手だ。しかし、3年生を見ていると、あんなふうになって卒業したいと思った。だから、自信を付けるためにいろいろなことに挑戦していきたいし、挑戦したことにこだわって取り組み、自信を付けていきたい。

・１年生の時は、「土台づくり」に取り組んだ。当たり前を当たり前にできるよう頑張った。３ 年生を見ていると、それができていた。2年生は、取り組んできたことを「積み上げる」ことを頑張ってきた。例えば、普段のあいさつを大きな声で行うというようなことだ。いよいよ ３ 年生になるがもっとしっかりと積み上げていかないと、すぐに崩れてしまい、積み上げたことが無駄になってしまうと思う。これから、「当たり前のことを当たり前に行う」ことで、がっちりとした土台を作り、その上に3年生での活動を積み上げていきたい。

そんな中で、来年度生徒会長になる伊藤蘭さんは、

「3年生は、式の間中、全く頭が動かなかった。簡単そうで、実はとても難しいことだと思う。自分もあんなふうになれるのかと不安になった。それと共に、本当に3年生がいなくなってしまうのだと実感した。いよいよ自分たちも3年生になる。3年生になるからには、行動していくしかない。仲間と共に、成長していきたい。」と語りました。

また、後期生徒会長の東山彩花さんは、
「今まで自分は、また明日、また来年度があると思っていた。3年生の合唱を聴いたが、初めて聴くようなすごい合唱だった。新しい道を切り拓き、自立し胸を張って卒業していけるようにしたい。そして、卒業の日の自分が、今の自分に感謝していけるように、最高学年として積み重ねていきたい。」と語りました。

最後に、3年学年主任の大友先生からお話がありました。
「自分の言葉で立派に話せたことがすばらしい。「すごい!あんなふうになりたい!!」と今の自分の弱さを語ることができることが素晴らしい。
3年生も1年前、合唱等様々なことについて、卒業していった3年生との差に愕然（がくぜん）とした。しかし、そこから「自分たちにできること」をみんなで考え、その一つ一つにこつこつと取り組んでいった。合唱については何回も練習し、日常生活も常に大切にしてきた。それが、卒業式での姿を創り出したのだと思う。2年生は、3年生が2年生だった時よりもレベルが高いと思う。だからこそ、いつかではなく、今このときから頑張っていってほしい。「今日から最高学年だ」という自覚を強くもってがんばっていってほしい。」

3年生＝最高学年 として、川島中の顔として、学校を引っ張っていくということは、とても大変なことです。しかし、みなさんには、仲間がいる。「仲間と共に」助け合い、励まし合いながら、共にがんばっていってください。みなさんの活躍を、楽しみにしています。